

## 会 議 録

1. 日時	平成30年3月15日(木) 19:00~21:30				
2. 会場	守門公民館(守門庁舎) 3階 多目的ホール				
3. 出席者 (敬称略)	No.	組織名	役職	氏名	出欠
	1	入広瀬地域連合自治会	大白川自治会長	住安正信	欠
	2	入広瀬地域連合自治会	横根自治会長	渡辺隆	欠
	3	入広瀬地域連合自治会	穴沢自治会長	浅井稔	欠
	4	守門地区区長会	会長	横山正樹	○
	5	守門地区区長会	副会長	榎本春実	欠
	6	守門地区区長会	監事	大塚明	○
	7	入広瀬コミュニティ協議会	会長	梶沢一彦	欠
	8	須原コミュニティ協議会	副会長	湯本勝美	○
	9	上条コミュニティ協議会	会長	目黒正和	○
	10	入広瀬小学校	PTA会長	樺沢裕幸	○
	11	須原小学校	PTA会長	大塚耕太	○
	12	入広瀬中学校	PTA会長	大島誠	○
	13	守門中学校	PTA会長	佐藤直樹	欠
	14	入広瀬小学校	6学年P委員長	佐藤直幸	欠
	15	入広瀬小学校	保護者	佐藤陽二	○
	16	入広瀬小学校	保護者	穴沢梢	○
	17	須原小学校	6年学年委員長	大塚耕三	○
	18	須原小学校	5年学年委員長	浅井誠哉	○
	19	須原小学校	4年学年委員長	小島綾子	○
	20	入広瀬中学校	保護者	星朗	○
	21	守門中学校	1学年委員長	浅井景介	欠
	22	入広瀬中学校	校長	佐藤栄策	○
	23	入広瀬中学校	教頭	浅井貞夫	○
	24	入広瀬中学校	教務主任	星野正樹	○
	25	守門中学校	校長	山岸力	○
	26	守門中学校	教頭	大塚高央	○
	27	守門中学校	教務主任	友野敦子	○
	28	魚沼市教育委員会	教育長	梅田勝	○
	29	魚沼市教育委員会	教育次長	堀沢淳	○
	30	魚沼市教育委員会	学校教育課長	風間松司	○
	31	魚沼市教育委員会	管理主事	早川政宏	欠
	32	魚沼市教育委員会	学務班係長	須佐光行	○
	33	魚沼市教育委員会	学務班主任	小山収	○
34	魚沼市教育委員会	学務班主任	内田昌登	○	

	35	入広瀬小学校	校長	上 村 勤	○
	36	須原小学校	校長	佐 藤 浩 一	欠
4. 資料	資料 1 制服・体操着について 資料 2 部活動について 資料 3 校歌について				
5. 会議概要	1 開会 2 教育長あいさつ 3 第1部全体会 (1) 議題 ①新制服・体操着について ②部活動について ③校章について ④校歌について ⑤校名応募者への景品贈呈について ⑥次年度の委員について (2) 報告事項 なし 4 次回(全体会)の開催について 5 第2部(専門部会)・・・議事録は各部会で別途作成 6 閉会				
6. 結果	会議の結果以下のとおり決定した。 ①新制服・体操着について ・女子ブレザー(下衣チェック柄)、男子ブレザー(下衣はメーカーにお任せ)、男女とも基調色を紺色とする方針を確認。 ・選定方法として展示会開催と保護者投票の実施を確認(別途、専門部会で選定要項を定める)。 ・小学校の卒業式に卒業生が魚沼北中学校の新制服を着用して出席できるように選定から製造までのスケジュールを調整することとした。 ・販売価格については、男女とも冬服上下衣と夏服下衣の合計で37,000円(税別)以内とすることを確認。 ・体操着については青色を基調とし、カバン、内履きとともに選定を学校に一任することとした。 ②部活動について ・陸上・スキー部、剣道部、卓球部、吹奏楽部の4種目を設置する方針を確認した。 ・柔道部、バスケット部、テニス部、バレー部は3年生引退後に廃部とし、2年生は存続する部活動に移籍することとした。 ・30年度の新入生とその保護者へ今回の方針決定を大至急周知することとした。 ③校章について				

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・委員の投票により6つの図案に絞り込んだ。</li> <li>・入広瀬小学校、須原小学校、入広瀬中学校、守門中学校の児童、生徒全員を対象にアンケート調査を実施し、最終候補1点に絞り込むこととした。</li> </ul> <p>④校歌について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・校歌歌詞素材の応募状況について報告。</li> <li>・作詞家の喜多條忠先生へ応募の素材を全て提供する。</li> </ul> <p>⑤校名応募者への景品贈呈について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・魚沼北で応募していただいた方全員に1,000円相当の図書カードを贈呈することに決定した。</li> </ul> <p>⑥次年度の委員について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・委員全員留任とする。なお、新年度のPTA役員等は委員に加えないこととした。</li> </ul>
--	--

## ■議事詳細

### 議 事 内 容

#### 1 開会

(事務局) ただ今から入広瀬中学校・守門中学校統合準備委員会第4回全体会を開会いたします。まずは、教育長からあいさつをお願いします。

#### 2 教育長あいさつ

(梅田教育長) 当委員会が発足して8か月が経過し、準備も着実に進展しています。現在開催中の市議会に統合後の学校名を魚沼北中学校とする条例改正案を提出しており、3月20日の最終日の本会議で審議いただく日程となっております。その他10月に行われる閉校記念式典にかかる市長への案内も準備しているところです。年度末で忙しい中、委員の皆様にはご苦勞をおかけしますがよろしくお願いいたします。

#### 3 第1部全体会

(事務局) さっそく議事に入りたいと思います。議事進行は委員長にお願いします。なお、投票の集計の都合がありますので「③校章について」を先に審議願います。

##### (1) 議題

#### ③校章について

(委員長) 年度末でお忙しい中、また、気温の変化が激しい中で体調を崩されている方もいらっしゃるのではないかと思います。よろしくお願いいたします。まずは、校章について事務局から概略の説明をいただきますが、専門部会で第1次の選考をさせていただきました。これをみなさんから5点ほどに絞り込んでいただき、その5点について子ども達と保護者を対象にアンケート調査を実施し、絞り込みを進めて行くことにしたいと思います。

(事務局) 先日、専門部会を開催し、校章についての検討を行いました。入広瀬小学校の児童から4点、入広瀬中学校の生徒から13点、入広瀬地域の住民から2点、須原小学校の児童から31点、守門中学校生徒から31点、守門地域の住民から7点、事務局案4点の合計93点の応募があり、この中から専門部会で14点に絞り込みを行いました。この14点の中から事前にお配りした投票用紙に5点を選んで記載いただき事務局まで提出ください。何点に絞り込むかは集計結果を見て決めさせていただきます。14点の候補について図案をデジタル化して壁に掲示してご

ざいですが、応募者の思いなどもご一読いただき、投票をお願いします。

(委員長) 子どもさんからの応募も多数あり、絵の巧拙もありました。この中から専門部会で構図的に良いと思われるものを14点選びましたが、大きさなどを統一したときに印象が変わるかもしれないということで、専門家に依頼して清書してもらいました。また、下の方に応募者の思いも記載されております。これらを読んでいただき、5点を選んで投票をお願いしたいと思います。

(委員による投票を実施)

### ①新制服・体操着について

(委員長) では投票の集計の間、各専門部会からの検討結果について報告いただき、審議をお願いしたいと思います。まずは制服・体操着についてお願いします。

(事務局) 【資料1により制服・体操着の基本仕様、選定方法、販売価格について説明・提案】

(委員長) それではまず基本仕様について確認したいと思います。何かありますか。

(委員長) アンケートを実施したのは、中学校1年生の保護者と小学校1年生から6年生までの保護者ということですか。

(事務局) はい。

(委員長) アンケートでは「セーラ服」と「ブレザー」、さらにブレザーであれば3つの中からいずれかのタイプを選ぶということだったのでしょうか。

(事務局) アンケート用紙については前回の全体会で審議いただきました。セーラ服については選択肢が1つだけでしたが、ブレザーについては「下チェック柄」「襟有り」「襟無し」の3つの選択肢を設けたため、保護者の投票が分散したものと分析しました。ブレザー3タイプを合計するとセーラ服を上回る結果となりました。

(委員長) 3タイプをあわせるとブレザーが多かったということですが、その3タイプの中から下チェック柄を選んだ理由は何ですか。

(事務局) アンケート結果をご覧ください。全体としてセーラ服が43%、ブレザーの下チェック柄が34%、襟有りが14%、襟無し7%ということでセーラ服43%に対してブレザー3タイプの合計が55%ということになります。また、実際に制服を購入いただくこととなる女子のお子さんがいる保護者のみの集計を見ると、セーラ服とブレザー下チェック柄が42%で同率1位となっており、ブレザーの中でも下チェック柄が特に人気となっていました。

(委員) 参考までにアンケートの回収率を教えてください。

(事務局) 正確な数は把握しておりませんが、学校へ配布と回収を依頼しましたので1人か2人は回収漏れがあったかも知れませんが、ほぼ100%に近かったということでご理解ください。

(委員長) ほかになければ、基本仕様についてはこれでよろしいですか。

(「はい」の声あり)

(委員長) それでは男女ともブレザーとする方針について皆さんから同意が得られたということで、この件については後ほどきちんと保護者へお伝えしていただきたいと思います。

次に選定方法についてはいかがでしょうか。

(委員) 選考要項について、専門部会の中で検討した修正点が反映されていない部分がありますので修正をお願いします。

(事務局) 失礼しました。修正します。

(専門部会長) 1点補足させてください。保護者投票は当初、夏休み後に学校で回収する予定でし

たが、展示会での印象が薄れないうちに投票した方がよいということで、展示会場にも投票箱を設置して投票を受け付けるように変更しました。展示会と夏休み後の2回投票の機会があることから、2重投票を防ぐ目的で投票用紙については記名式とさせていただくこととしました。

(委員長) 投票用紙は展示会場で配布するのですか。

(事務局) 夏休み前に学校を通じて配布する予定です。

(委員長) 配布された投票用紙を持って7月28日に展示会へ行けばいいわけですね。投票の配布から展示会、投票の回収までの流れがよくわからないのですが。

(専門部会長) 展示会は7月25日から31日まで約1週間の期間を設けています。7月28日はメーカーの担当者が来場して説明会を実施しますが、それ以外の日については展示会場は無人となります。メーカーのいる28日に来場して投票いただくのが最善ですが、都合が合わなければ展示期間のいずれかの日に来場して投票いただくこととなります。説明会については遠方から来場するメーカー側の都合も考慮して、28日の午後に入広瀬、同日夜に守門で行い、1日で済むように計画させていただきました。

(委員長) そうすると展示会は25日から31日までの1週間あり、メーカーが来て説明するのは28日のみということですね。この期間に自分で見本を見て良いと思うものにマルをつけて投票してもらおうということのようですが、投票に行くのは第1会場、第2会場のどちらでも良いということですね。

(事務局) はい。

(委員長) 何でこんなにしつこく確認するかというと、ここにいる私たちは説明を聞いているので理解できますが、保護者は紙を渡されてそれだけで判断して行動しなければならないわけです。もう少しわかりやすい記載方法にして保護者に案内してもらいたいと思います。

(事務局) はい。これはコンペに参加する業者さん用に作成した要項ですので、保護者向けはもう少しわかりやすい文書にしたいと思います。

(委員長) 採寸は2月で間に合うでしょうか。

(事務局) 初年度のみ1月に採寸させて欲しいという業者さんもいましたので、細かいスケジュールについては決定した業者さんと協議ということになるかと思います。

(委員長) 販売店の指定は行わないのですか。

(事務局) 制服仕様の価格の項目の中で「市内の販売店(複数店舗)で販売できること。」としており、1つの店舗が独占販売することのないように規定しています。

(委員) 守門、入広瀬で買えるようにするということでしょうか。

(事務局) 守門、入広瀬のほか小出あたりでも買えるようにすることを想定しています。

(委員長) 販売価格も同じになるということでしょうか。

(事務局) 店頭販売価格までこちらで指定することはできません。冬服と夏服セットで税別37,000円以内の価格で販売できるように価格の上限だけを決めています。

(委員長) ここまでよろしいでしょうか。

(特に意見なし)

(委員長) それでは次の体操着、カバン、内履き等についてはいかがでしょうか。

(委員長) 学校に一任するということですが、山岸先生、佐藤先生、これでよろしいですか。

(山岸校長、佐藤校長) はい。

(委員長) これについては、学校の方で決めていただければよろしいかと思います。

(委員) 確認したいのですが資料の2ページ、制服の選定方法の⑨に「卒業式までに手元に届くよう製造・販売」とあるのに対して、資料13ページの「2 販売開始まで」では「平成31年4月の新入生の入学時に間に合うように」という記述となっています。小学校の卒業式で中学校の制服を着用するのではないのでしょうか。

(事務局) ご指摘のとおりです。資料13ページについては「平成31年3月の小学校卒業式に間に合うように」と修正します。

(委員) 審査会には各社からサンプルが複数提出され、展示会に展示するのは各社から1点を審査会で選んで持っていくという流れになるということでしょうか。

(専門部会長) 各社から提出してもらうサンプルは最初から1社1点のみという考えです。審査会ではそのサンプルが仕様を満たしているかどうかのチェックをするだけで、絞り込みを行う考えはありません。保護者投票でサンプル数が多くなると票が分散して判断が難しくなることから、1社1点でお願いすることとしました。

(委員) 資料9ページの③展示スペースの空欄は平米数が入るということですか。

(事務局) はい。

(上村校長) 資料12ページの7②の記述のとおりだとすると、サンプルに直接手で触れることができません。生地の肌触りや伸縮性を確かめることができなくなります。汚損防止のためということも理解できますが、できれば2点用意してもらい、1点は触って確かめられるようにできないものなのでしょうか。

(専門部会長) 展示中や輸送中にサンプルを汚損した場合、こちらで責任を負わないようにするための記述です。メーカーとの協議にもなりますが、確かに手触りを確認することは大変重要なので、ここは記述を替えたいと思います。

(委員長) 見た目だけでなく手触りも含めて判断すべきだし、皆さんも服を選ぶときはまず触ってみますよね。これは業者に相談して進めてもらった方が良いでしょう。

(事務局) 裏地や仕立てなど、見えない部分も確認したい点も多いでしょうから、その辺も考慮して記述を変更したいと思います。

(委員) 展示会に来場できない方は投票できないということにならないのでしょうか。

(事務局) 業者さんから提案書の要約版を作成いただき、それを保護者に配布し、展示会に来場できない場合でも写真等でサンプルを確認できるようにしたいと思います。

(委員) 体操着は学校に一任ということですが、実際購入するまで現物を確認できないということでしょうか。

(山岸校長) 専門部会では体操着の選定スケジュールまで議論が及んでおりません。しかし、生徒・保護者の皆様は大変気になるころだと思いますので、早めにお知らせできるように調整したいと思います。

(専門部会長) 実は体操着については、色系統が決まればあとは使い勝手などを考慮してカタログの中からモデルを選択する形となり、選択肢はそう多くありません。選択の幅がそれほど大きくないのであれば、学校へ一任したとしても結果は大きく変わらないと部会では判断しました。学校へ一任することを全体会で承認いただければ、学校から詳細な日程等を出していただき、みなさんへお知らせする必要があると考えています。

(委員長) 体操着については、名札をつけるのか刺繍にするのか、校章を入れるのか入れないのか、そういう部分はこれから議論すべき点が出てくると思います。

それでは、制服・体操着については、このような進め方でよろしいでしょうか。

(特に意見無し)

(委員長) はい。それではこの形で進めて行きたいと思います。この件については、保護者の皆様に丁寧に説明するなど段取りを進めていただきたいと思います。

## ②部活動について

(事務局) 【資料2により「陸上・スキー部」「剣道部」「卓球部」「吹奏楽部」を存続し、「柔道部」「バスケットボール部男子」「ソフトテニス部女子」「バレーボール部女子」については3年生引退後に廃止する方針について説明・提案】

(専門部会長) 統合してなぜ部活動を減らさなければならないのかという疑問の声もありました。しかし、現状を見ると顧問の掛け持ちや外部指導者からの支援も得て、学校側でかなり無理をしながら部活動を継続している状況でした。統合したとしても顧問となる教員の数は増えないし、子どもの数も減少傾向にある中で5つ、6つの部活動を設置したとしても、またすぐに廃部せざるを得ないようでは寂しいということで4つに絞らせていただきました。バスケットボール部とバレーボール部については、練習するにもある程度の人数が必要ですが、統合後に3年生が辞めてしまうと満足な練習ができなくなることが予想されました。一番悩んだのがソフトテニス部と剣道部のどちらを残すかについてです。入広瀬中学校で柔道部と剣道部が存続しているのは、団体競技でなくても続けられるスポーツということで苦渋の決断で残されたものと思われませんが、入広瀬地域の方々から見たときに、柔道・剣道の両方が廃部となるとやはり寂しいものがあるのではないかと考えました。その他武道系の種目を残したいという意見や練習場所に体育館が使えるという点などを考慮して最終的にこの案を作成しました。「陸上・スキー部」は、現在は「陸上部」「アルペン部」「クロカン部」の3つに分かれ存在していますが、これだけは何とか1種目としてカウントしていただくよう学校にお願いして、1種目としました。これは専門部会の大きな成果ではないかと思っています。

(山岸校長) 吹奏楽部について少し補足させていただきます。今、入広瀬中学校には音楽科の教師の配当がありません。このため、音楽の授業は非常勤講師が授業のある時だけ外部から来ていただいで対応しています。守門中学校では音楽科の常勤の教諭がおりますので吹奏楽部が成立しています。しかし今後、特別支援学級の関係で学級数が5学級から4学級となりますと、教員の配当数が8から7に減ります。そういったところで技能教科の教諭、特に音楽科の先生は必ずしも配置されるとは限りません。音楽科の先生がいなければ吹奏楽部の活動は困難になります。もし、そうなったときは学校へ対応を一任するというところで部会の中で話し合ったところです。

(専門部会長) 吹奏楽については、スポーツが苦手な子のために文化系クラブを1つは残すということで存続する方針としたものです。現状では吹奏楽としていますが、今ほどの話にあったように吹奏楽としての存続が困難であれば、文化系クラブとして形を変えながらも存続をお願いしたいと考えています。

(委員長) 学校運営部会では、部活動の方針案作成に当たっては相当悩まれたのではないかと思います。何か聞いてみたい点等ありますでしょうか。

(委員) 3 (2) で「廃止する部活動に所属する2年生については存続する部活動のいずれかに移籍してもらいます」とあります。廃止する部活動に所属する子だけ移籍先の希望を聞くということでしょうか。2年生全員に希望をとるということはしないのでしょうか。

(専門部会長) 今のところ廃止する部に所属する子だけを対象と考えています。存続する部にいる子が別の部に移籍するのともうかと思いますが。

(委員) そうすると入広瀬中学校の子で統合後に吹奏楽部に入りたいという子は、廃止になる柔道部に入らなければ移籍できないということですね。

(専門部会長) そこまで考えていませんでした。

(山岸校長) 専門部会では、廃止になる部活に入らなければ移籍できないという制約は設けていませんでした。

(委員) それであれば2年生全員に希望を取るということでしょうか。

(専門部会長) ここは、廃止する部活動に所属している子だけを対象にした記述であり、そもそも部活動の移籍は随時できるわけですね。

(山岸校長) 入広瀬中学校も守門中学校も3年間活動を継続できる部活動を自己決定できるように指導してきましたが、今回については部が4つに減らされることを考えれば、今の6年生の児童に関しては一つ上の先輩が引退したら転部しても良いというふうにしていかないとかわいそうかなと思います。須原小学校の子が剣道部に入りたいから、あえて廃止する部に入部しなければ移籍してはならないとする考えはありません。先日の6年生の保護者を対象にした入学説明会でも部活動の方針についていつになったら教えてもらえるのかというような質問が出ておりました。廃部になることがわからないままバスケットシューズなどの用具を買って入部したら、1年で廃部になったというようなことはあって欲しくないで「入部するまでに教えてください」と複数の方から声が上がっていました。廃止されることがわかった上であえて入部する方がいるかどうかまではわかりません。

(専門部会長) 今の件は、対象となるのが6年生だけですので、その辺はどこかに記述しておきたいと思います。

(委員) 柔道部の廃止理由に「社会体育クラブでの活動を許可する」とありますが、大会参加資格などはどうなるのでしょうか。

(大塚教頭) 今はいませんが守門中学校では、昨年まで剣道をやっている子がいました。大会に参加したいというときは入広瀬の子ども達と一緒に申込みをして一緒に参加したり、保護者が付き添ったりしていました。部活動はありませんが大会には参加していました。

(委員) 大会には参加できるわけですね。

(大塚教頭) はい。

(委員) 部活には入部しなくて良いのですか。

(大塚教頭) 部活には入っていてもいなくてもかまいませんし、地域の社会体育のクラブに所属して活動することもできます。守門中学校の名前を使用して大会に出場することもできます。

(委員長) 今ほど廃部となる柔道部の救済措置についてお話がありました。社会体育のクラブに所属しながら社会体育の大会に参加することはもちろん、中学校体育連盟の大会にも参加できるということです。社会体育クラブは毎日練習日があるわけではありませんので、普段は陸上部に所属しながら練習のある日だけ社会体育クラブで活動するというのもできるので、そこは学校側

と良く相談していただくということになろうかと思えます。柔道だけでなくバドミントンや水泳、サッカーなど子ども達のニーズも年々広がってきていますので、学校の方でそれぞれ個別に対応していただければと思います。

(委員長) 色々課題はありますが、準備委員会としてはこの4種目でスタートするという事によろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

(委員長) では、この方針を進めます。ただし、今の6年生が中学校に進学したときは現在の部活動がそのまま存続し入部も可能であること、2年生になると4つになることをしっかりと伝えなければいけません。それを理解した上で、あと1年でバスケットボール部がなくなるけれども入部したいという子がいても良いと思いますし、社会体育のクラブに所属して柔道がんばるという子がいても良いと思います。それは親子で話し合って決断していただきたいと思えます。それらをいつ子ども達や保護者に伝えるか。年度末か、あるいは新年度に入ってからか、学校としてはどちらが良いでしょうか。

【検討の結果、3月中に小学生及び中学1、2年生の保護者へ文書を配布することとした。また、新年度にPTA総会などの場で方針を説明し、保護者の意見を聞く機会を設けることとした。】

### ③校章について

(委員長) 校章の投票結果について報告をお願いします。

(事務局) 1位の得票が13票、2位が11票、3、4位同数で10票、5、6位も同数で9票となりましたので、この6点についてアンケート調査を実施したいと思えますがいかがでしょうか。

(委員長) では、この6点で保護者と子どもを対象に、4月に入ってからアンケート調査を実施するという事で良いでしょうか。

(事務局) なお、アンケート用紙については、入広瀬・守門地域の小・中学校の児童・生徒1人につき1枚ずつ配布させていただく想定です。

(委員) 色が異なる図案が4つあるのですが、これらはどういうものになりますか。

(事務局) 左上が応募者の図案をなるべく原画のイメージにそって忠実に再現・清書したものです。

(委員) 色合いで印象がかなり変わりますね。

(委員長) アンケート用紙には4つ全てを印刷するわけではないですよ。

(事務局) カラー1つ、モノクロ1つをワンセットと考えています。

(委員) アンケートの取り方ですが、6点の中から1点を選ぶのか、それとも複数選ばせるのか。今ほどのように5点選ばせる場合、1番目は良く考えて独創的なものに投票しますが、順位が下に行くほど標準的なものに投票してしまう傾向があります。重み付けをしているわけではないため、1番目も5番目も同じウェイトで集計されて、最後には標準的なものが選ばれる傾向があります。校名選考で魚沼北が選ばれたときもそうでした。

(委員長) アンケートで1点に絞らせるか、2点選ばせるかどちらにしますか。

(事務局) このあとの専門部会でその点を検討する予定でしたが、全体会で決めていただければありがたいです。

(委員) 今の決定を覆すつもりはありませんが、アンケートと同じ条件で投票したかったなと思いまし

た。図案が4つある中で私は右の2点を見て投票しました。アンケートの対象が左の2点ならその2つで評価したかったなと思いました。

(委員) 右の2つは何だったんでしょうか。

(事務局) 例えば体操着などに校章をプリントする場合、単色で刷り込む場合もあるので、色々なケースを想定して複数案作成しています。

(委員) カラーの校章の使い道というか、色を再現できるのでしょうか。

(事務局) 校旗の刺繍などはカラーとなります。色の再現は可能です。

(委員) カラーのバリエーションを増やすのは専門部会内で検討したのでしょうか。

(事務局) 清書を依頼した際、プロの方から提案されたものになります。

#### 【しばらく懇談的に意見交換】

(委員長) はい。ではいったん仕切り直しましょう。

今度は左の2つを見て投票してください。投票は1人2点までとします。

再投票集計結果	No. 87	11 票
	No. 23	7 票
	No. 38, 90	6 票
	No. 2, 88	4 票
(※1回目の投票と同じ6点が上位となった)		

(委員長) この結果についてみなさん納得しましたか。

(「はい」の声あり)

(委員長) それでは、この6点について4月になったら子ども達にアンケート用紙を配布して、保護者と相談しながら1点を選んでもらい、回答してもらう事にします。

#### ④校歌について

【応募総数 185 点の歌詞素材について、カテゴリ別に整理した資料 3 について説明するとともに、応募作品のすべてについて作詞家の喜多條忠先生へ提供して作詞を依頼することについて報告】

#### ⑤校名応募者への景品贈呈について

※発言内容の記載省略

検討結果は、「6. 結果 ⑤校名応募者への景品贈呈について」に記載のとおり

#### ⑥次年度の委員について

※発言内容の記載省略

検討結果は、「6. 結果 ⑥次年度の委員について」に記載のとおり

#### (2) 報告事項

なし

#### 4 次回(全体会)の開催について

【平成 30 年 5 月連休明けあたりに日程を調整して開催することに決定した】

#### 5 閉会

【午後 9 時 30 分 閉会】 全体会閉会后、各専門部会に分かれて打ち合わせ

